

**canopus**

Digital Video Player

**ユーザーズマニュアル**

V1.0J

Digital Video Player  
ユーザーズマニュアル V1.0J  
April 18, 2003  
Copyright 2003 Canopus Co., Ltd.  
All rights reserved.

# 本製品を正しく安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ■絵表示について

この取扱説明書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。絵表示とその意味は、次のとおりです。



### 警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



### 注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

## ■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

## ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。



### 警告

#### ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に「てんかん・意識の喪失」などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

#### ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

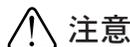
●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項  
製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

#### ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



### 注意

#### ●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいております。

#### ●他社製品と併用される際の注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境でご購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によってご購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品とご購入製品との併用はお止めください。

### ●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

### ■リチウム電池を使用される際の注意事項

リモコンのリチウム電池を使用されるときは、次のことにご注意ください。

- ・長時間使用しないときは、リチウム電池を取り出してください。
- ・使用済みのリチウム電池は、定められた場所に破棄してください。また、各自治体の規則に基づいた場所に破棄してください。
- ・液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しいリチウム電池を入れてください。
- ・液もれが起こって、液が手などに付着した場合は、よく洗い落としてください。
- ・リチウム電池は、お子様の手の届かない場所に保管してください。



### ご注意

- (1)本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2)本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3)本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4)運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5)ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

- (6)本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7)カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8)Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



### 表記について

- 本書はDigital Video Playerの操作方法について説明しています。  
MTVシリーズのセットアップ手順とソフトウェアのインストール方法は、MTVシリーズに付属のインストールマニュアルをご参照ください。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP HomeEdition/Professional operating systemをWindows 2000、Windows XP(HomeEditionとProfessionalの総称)と表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。
- 本書ではDigital Video Playerを、DVPと表記しています。

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

#### カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL.078-992-6830 (10:00～12:00、13:00～17:00)

土・日・祝日および当社指定休日を除く

# Digital Video Playerのしくみと特長

## しくみ

本製品は、ビデオ出力ボード (VideoGate1000)、ソフトウェア (FEATHER)、リモコン (CRM-1) の3製品を、1つにまとめた製品です。3製品とパソコンを組み合わせることで、パソコンにある映像を、家庭用のテレビで視聴できます。

## 特長

### TV番組の視聴・録画

MTVシリーズ (別売) と併用すると、TV番組の視聴・録画・予約録画ができます。

### パソコンにある映像を出力

パソコンに保存してある映像を、家庭用のテレビで視聴できます。



### リモコン操作

キーボードやマウスを使わず、リモコンを使って操作ができます。

# もくじ

本製品を正しく安全にお使い いただくために	2
Digital Video Playerのしくみと特長	4
しくみ	4
特長	4
もくじ	5

## 第1章

### まず最初に ～確認と準備～

付属品の確認	6
付属品が不足していたら	6
動作環境について	7
推奨システム	7
必要な機器類	7
再生できるファイル	7
制限事項	8
割り込み (IRQ) について	8

## 第2章

### DVPをパソコンにセットしよう

設置と接続	10
より美しい映像で楽しむには	11
インストール	12
インストールの手順	12
正しくインストールされたか確認する	18
リソースの変更	19
MediaLibraryにファイルを登録する	20
ファイルを登録する	20
ファイルを削除する	21
新規カテゴリを作成する	21

## 第3章

### 動画ファイルを見てみよう

FEATHERの起動	22
終了	22
リモートモードの切換	23
OSDメニューについて	24
OSDメニューの各項目	24
OSDメニューの操作方法	25
ファイルの再生	26
音量を調整する	27

いろいろな再生方法	28
動きを止める (一時停止)	28
見たいシーンを探す (早送り/巻き戻し)	28
不要なシーンを飛ばす (スキップ/バック)	29
シーンを画像として保存する	29
デスクトップ画面を再生する	30
サイズを調整する	31
更新レートを調整する	31
画質の調整	32
調整方法	32
調整項目について	32

## 第4章

### TVを見てみよう ～MTVといっしょに使う～

TVを見る	33
TVを予約録画する	34
予約録画の前に	34
予約を新規登録する	35
予約を編集する	37
予約を削除する	38
録画しながら再生する (追っかけ再生)	39
追っかけ再生とは?	39
追っかけ再生の活用例	39
追っかけ再生の操作方法	40

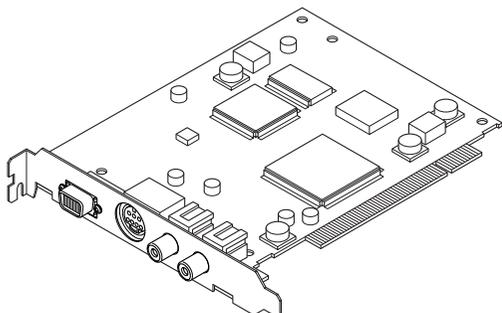
## 付 録

ハードウェア仕様	41
VideoGate1000ボード	41
リモコン送信ユニット	41
リモコン受光ユニット	41
ソフトウェアのアンインストール	42
アンインストールの手順	42
リモコンについて	45
各部の名前	45
電池の交換	46
FEATHERの設定	47
基本設定	47
動作設定	47
FEATHER設定	48
キーの設定	50

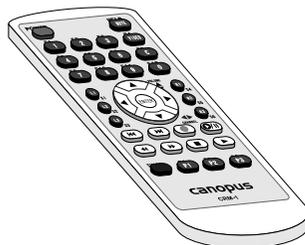
# 付属品の確認

本製品に、次の付属品が同梱されていることを確認してください。

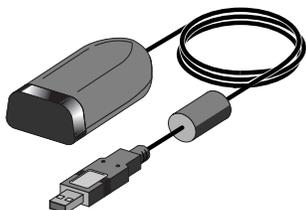
VideoGate1000ボード



リモコン送信ユニット (CRM-1)



リモコン受光ユニット (CIRCV-1)



アナログビデオ端子ケーブル



USB延長ケーブル (1m)

Digital Video Player インストールCD

ユーザーズマニュアル (本書)

Support Service Manual

## 付属品が不足していたら

製品の梱包には万全を期していますが、万一付属品が不足していた場合は、カノープスカスタマーサポートまで連絡してください。

カノープスカスタマーサポート

電話番号：078-992-5846

受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00 (土・日・祝日および当社指定休日を除く)

# 動作環境について

本製品を使用する前に、Digital Video Playerが動作可能なパソコンおよびOSの環境を確認してください。

対応パソコン	IBM PC/AT互換機
対応OS	Windows 2000 Professional Windows XP Home Edition Windows XP Professional
空きPCI (Ver2.1) スロット	ボードの装着に必要です
空きUSB1.1コネクタ	リモコンの受光部が使用します
CD-ROMドライブ	インストール作業に必要です

## 推奨システム

本製品は、製品を装着可能な動作環境であれば使用できますが、推奨システム以外の環境では、すべての機能を使用できない場合があります。また、下記推奨システムはすべての動作を保証しているものではありません。

CPU	Intel Pentium4
チップセット	Intel 845チップセット以降のIntel製チップセット
メモリ	256MB以上搭載
グラフィックシステム	nVidia GeForceシリーズ (SPECTRAシリーズ推奨) ※内蔵グラフィックチップでは動作保証いたしません
TVチューナー	Canopus MTVシリーズ (MTV800HXではGME500が必要)

## 必要な機器類

テレビ	Sビデオ／コンポジットビデオ／D1端子のいずれかとステレオ入力端子を持つテレビが必要です
ビデオケーブル	Sビデオ・コンポジットビデオ・D端子のいずれかによるビデオ出力接続のために必要です
オーディオケーブル	RCAピンジャックによるステレオオーディオ出力接続に必要です

## 再生できるファイル

ファイル形式	MPEG1、MPEG2、MPEG4、DivX、AVI、WMV (Direct Show対応) ※ビデオフォーマットによっては正常に再生されない場合があります
--------	--

## 制限事項

本製品使用時の制限事項は次の通りです。

### 再生中の動作について

ハードディスクのシークなどにより、音の途絶・画像のコマ落ちが発生する場合があります。再生時のパフォーマンスは、お使いのパソコンの環境により異なります。

### Video-CD/DVD-Videoの映像について

Video-CDおよびDVD-Videoの映像は出力できません。

## 割り込み（IRQ）について

本製品のご使用時には、IRQの空きが1つ以上あることを推奨します。ここでは、Windows XPを例にして確認方法を説明します。

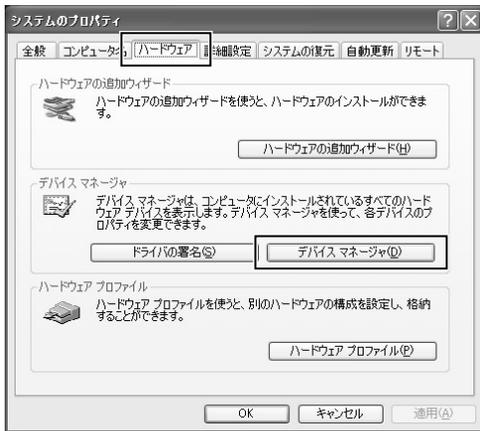
### 割り込み（IRQ）の確認



1

【スタート】 ボタンをクリックして、【マイコンピュータ】の上で右クリックし、表示されるメニューから【プロパティ】をクリックします。

→ 【システムのプロパティ】画面が表示されます。



2 [ハードウェア] タブ→ [デバイスマネージャ] ボタンの順にクリックします。

→【デバイスマネージャ】画面が表示されます。



3 [表示] メニュー→ [リソース (種類別)] の順にクリックします。

→リソースが種類別に表示されます。



4 [割り込み要求 (IRQ)] をダブルクリックします。

→IRQの一覧が表示されます。空き番号があることを確認してください。空き番号がない場合は、使用していない機器を取り外すか、無効にして空き番号を作ってください。

1

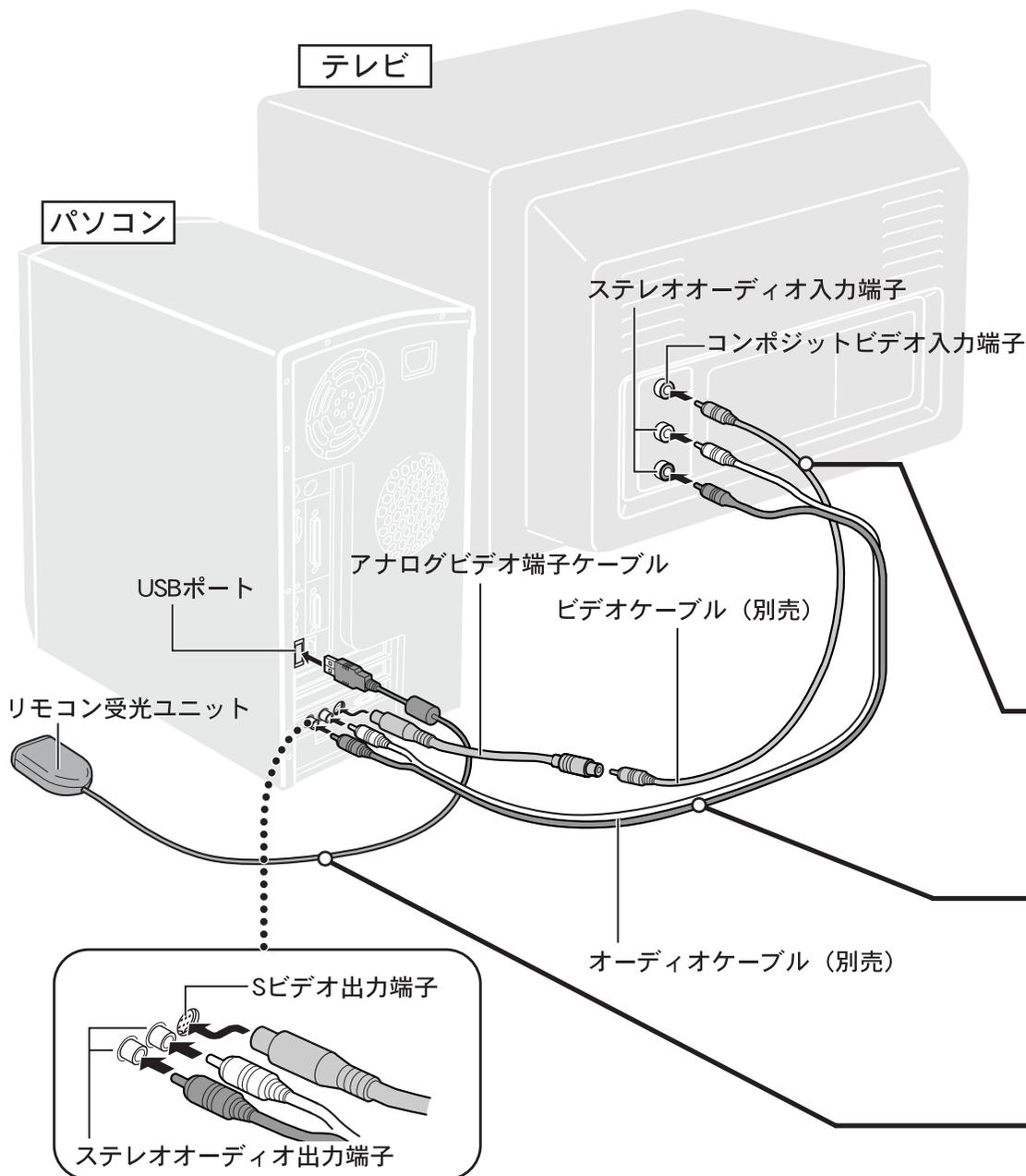
第1章  
まず最初に  
確認と準備

# 設置と接続

下図を参照して、本製品の設置と接続を行ってください。

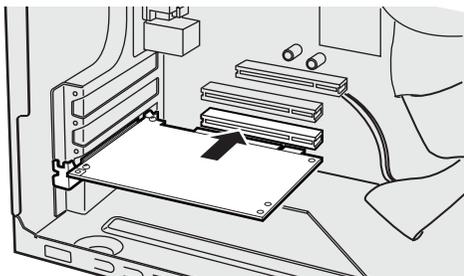


**注意** パソコンにはキーボード、マウス、およびモニタを別途接続してください。



1

パソコンのPCIバススロットに、VideoGate1000ボードを取り付けます。



メモ

パソコン本体のカバーの取り外しは、パソコンに付属の取扱説明書を参照してください。

注意

- ・取り付け前は、ドアのノブなどの身近な金属に手を触れて、体の静電気を取り除いてください。
- ・取り付け時は、パソコンのシャーシや金属のへりなどで怪我をしないように注意してください。

2

VideoGate1000ボードのSビデオ出力端子と、テレビのコンポジットビデオ出力端子を、ビデオケーブルとアナログビデオ変換ケーブルで接続します。

3

VideoGate1000ボードのステレオオーディオ出力端子と、テレビのステレオオーディオ入力端子を、オーディオケーブルで接続します。

4

パソコンのUSBポートにリモコン受光ユニットのUSBケーブルを接続します。

メモ

ケーブルの長さが足りない場合は、本製品に付属のUSB延長ケーブルを活用してください。

## より美しい映像で楽しむには

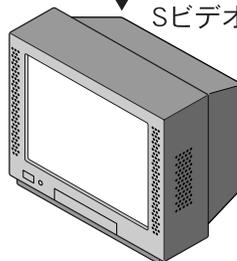
テレビ側にSビデオ入力端子またはD入力端子がある場合は、VideoGate1000ボードのSビデオ出力端子またはD1出力端子と接続して、より美しい映像を楽しむことができます。

### Sビデオ出力端子を使う



Sビデオケーブル  
(別売)

テレビの  
Sビデオ入力端子へ

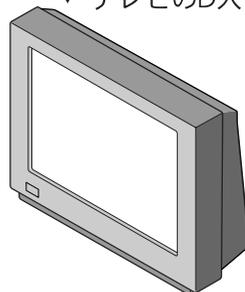


### D1出力端子を使う



D端子  
ケーブル  
(別売)

テレビのD入力端子へ



2

第2章 DVPをパソコンにセットしよう

# インストール

本製品に付属のDigital Video PlayerインストールCDからパソコンへ、ソフトウェアおよびドライバをインストールします。

## 注意

- ・ Windows 2000/XPのパソコンへインストールするには、Administratorsまたは管理者の権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。
- ・ 起動しているすべてのアプリケーションソフトや、常駐ソフトを終了させてからインストールを実行してください。
- ・ リモコン受光ユニットをパソコンに取り付けてからインストールを実行してください。
- ・ インストールが完了するまで、Digital Video PlayerインストールCDを取り出さないでください。

## インストールの手順

ここでは、Windows XPの操作手順および画面を使って説明しています。

1

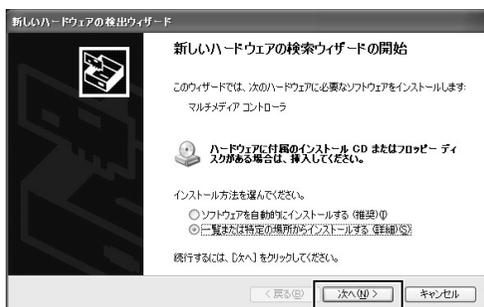
パソコンの電源をONにします。

→【新しいハードウェアの検出ウィザード】画面が表示されます。

2

【キャンセル】ボタンをクリックします。

→【新しいハードウェアの検出ウィザード】画面が閉じます。



3

本製品に付属のDigital Video PlayerインストールCDをパソコンにセットします。

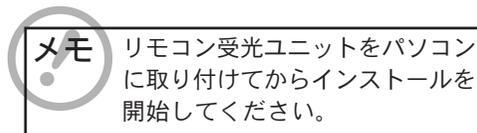
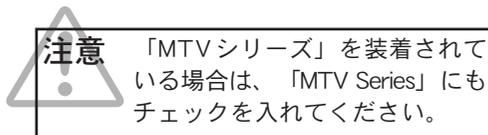
→【Setup Manager】画面が表示されます。

## メモ

【Setup Manager】画面が表示されない場合は、[スタート] ボタン → [ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。表示される【ファイル名を指定して実行】画面の「名前」に「D : ¥Setupmgr.exe」と入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。  
(光ディスクドライブがDドライブの場合)



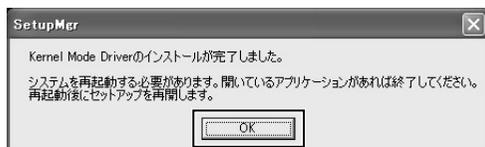
4 「Digital Video Player」にだけチェックを入れて、[開始] ボタンをクリックします。



5 [はい] ボタンをクリックします。



6 [続行] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンをクリックします。

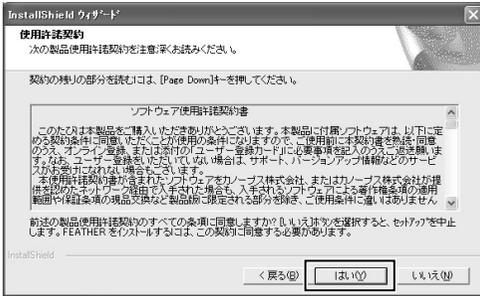
→パソコンが再起動します。これでドライバのインストールは完了です。再起動後は引き続き、FEATHERのインストールが始まります。

2

第2章 DVPをパソコンにセットしよう



8 [次へ] ボタンをクリックします。



9 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んでから、[はい] ボタンをクリックします。

**注意** 同意できない場合は、インストールを中止して、当社カスタマーサポートまで書面にて連絡してください。



10 表示されているインストール先で問題がなければ、[次へ] ボタンをクリックします。

**メモ** インストール先を変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックします。



11 表示されているプログラムフォルダ名で問題がなければ、[次へ] ボタンをクリックします。

**メモ** プログラムフォルダ名を変更したい場合は、「プログラムフォルダ」に表示されている名前を変更します。



12

[次へ] ボタンをクリックします。



13

[次へ] ボタンをクリックします。

**メモ** デスクトップにFEATHERのショートカットアイコンを作成したくない場合は、「デスクトップにショートカットを作成する」のチェックを外します。



14

[完了] ボタンをクリックします。

→FEATHERのインストールは完了です。引き続き、VideoGate1000のインストールが始まります。

**メモ** 手順4で「MTV Series」にチェックを入れた場合は、この後「TBOX」および「MTV」のインストールが始まります。インストール終了後、手順15へ進みます。



15

[次へ] ボタンをクリックします。

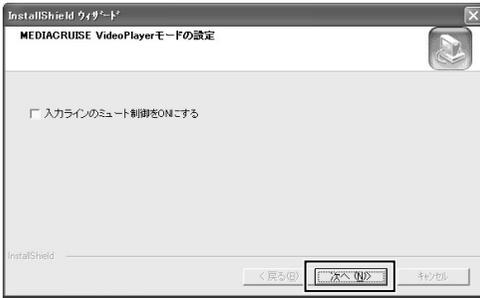
2

第2章 DVPをパソコンにセットしよう



16 表示されているインストール先で問題がなければ、[次へ] ボタンをクリックします。

**メモ** インストール先を変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックします。

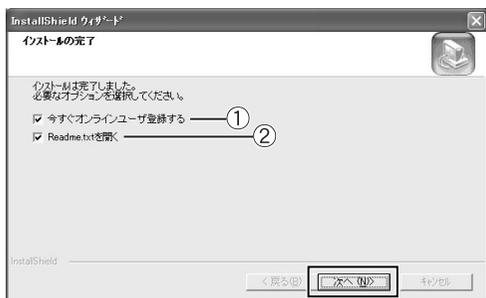


17 [次へ] ボタンをクリックします。

**注意** 「入力ラインのミュート制御をONにする」にチェックを入れないでください。



18 「MPEG2 ファイル (\*.m2p)」および「MPEG2 ビデオ (\*.m2v)」のチェックを外して、[次へ] ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。

19

[次へ] ボタンをクリックします。

①今すぐオンラインユーザ登録する  
 チェックを入れると、当社ウェブサイト内にある「オンラインユーザー登録ページ」にアクセスします。「オンラインユーザー登録ページ」のアクセスには、インターネットへの接続が必要です。

②Readme.txtを開く  
 チェックを入れると、本製品の注記事項が記載されたテキストが表示されます。

**注意** 「Readme.txt」は必ず読んでください。本書に未記載の追加事項または制限事項が記載されています。

20

[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] にチェックを付け、[完了] ボタンをクリックします。

→パソコンが再起動します。

2

第2章 DVPをパソコンにセットしよう

# 正しくインストールされたか確認する

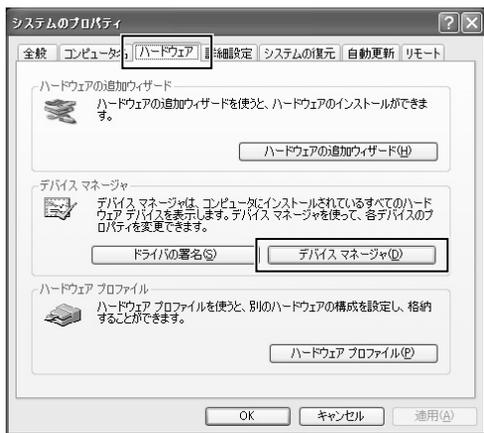
インストールの完了後に、ドライバが正しくインストールされているかを確認します。



1

[スタート] ボタンをクリックして、[マイコンピュータ]の上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] をクリックします。

→【システムのプロパティ】画面が表示されます。



2

[ハードウェア] タブ→ [デバイス マネージャ] ボタンの順にクリックします。

→【デバイス マネージャ】画面が表示されます。



3

「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をダブルクリックし、表示される「VideoGate1000 Kernel Mode Driver」の先頭に「！」や「×」が付いていないことを確認します。

→「！」や「×」が付いている場合は、ドライバが正しくインストールされていません。再インストール、リソース問題の解決や、VideoGate1000ボードの差し位置の変更などを試してください。

## リソースの変更

本製品のドライバが、他機器のドライバとリソースを競合または共有している場合は、本製品が正常に動作しない恐れがあります。リソースが競合または共有している場合は、次の方法を試します。

- ・割り込みを共有する他機器を取り外すか、他機器のIRQを変更します（IRQステアリングフォルダとの共有は問題ありません）。
- ・パソコン（マザーボード）のBIOSで、リソースの設定を変更します。BIOSの操作方法は、パソコンによって異なりますので、パソコン本体またはマザーボードに付属の取扱説明書を参照します。

**メモ** リソースの競合または共有の確認は、「割り込み（IRQ）の確認」（⇒8ページ）を参照してください。

# MediaLibrary にファイルを登録する

DVPで動画ファイルを再生する前に、動画ファイルをMediaLibraryに登録してください。

## ファイルを登録する

動画ファイルの登録は、パソコンのマウスで操作します。



1 [スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [Canopus FEATHER] → [FEATHER] の順にクリックします。

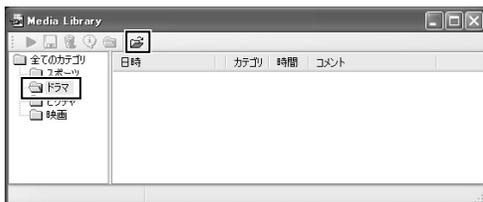
→パソコンのモニタに、リモコンが表示されます。

**メモ**すでに【MediaLibrary】画面が表示されている場合は、手順3へ進んでください。



2 パソコンのモニタに表示されているリモコンの [R1] ボタンをクリックします。

→【MediaLibrary】画面が表示されます。



3 ファイルを登録したいカテゴリをクリックして、[ファイルの追加] ボタンをクリックします。

→【Import media files】画面が表示されます。

**メモ**新たにカテゴリを作成したい場合は、「新規カテゴリを作成する」を参照してください。  
(⇒21ページ)



4 登録したいファイルをクリックして、[開く] ボタンをクリックします。

→【MediaLibrary】画面に選択したファイルが登録されます。

## ファイルを削除する

登録したファイルを削除します。ファイルの削除は、MediaLibrary から登録だけを削除する方法と、ファイルのデータ自体も一緒に削除する方法があります。



1 削除したいファイルをクリックし、[削除] ボタンをクリックします。

→ファイルの削除を確認する画面が表示されます。



2 ●MediaLibrary から登録だけを削除 [いいえ] ボタンをクリックします。

●ファイルのデータ自体も一緒に削除 [はい] ボタンをクリックします。

## 新規カテゴリを作成する

ファイルを登録するカテゴリは、任意の名前で新規作成できます。



1 「すべてのカテゴリ」の上で右クリックして、表示されるメニューから [新規カテゴリ] をクリックします。

→新しくカテゴリが作成されます。



2 新しく作成したカテゴリの名前を入力し、[ENTER] キーを押します。

→新しく作成したカテゴリに名前が入力されます。

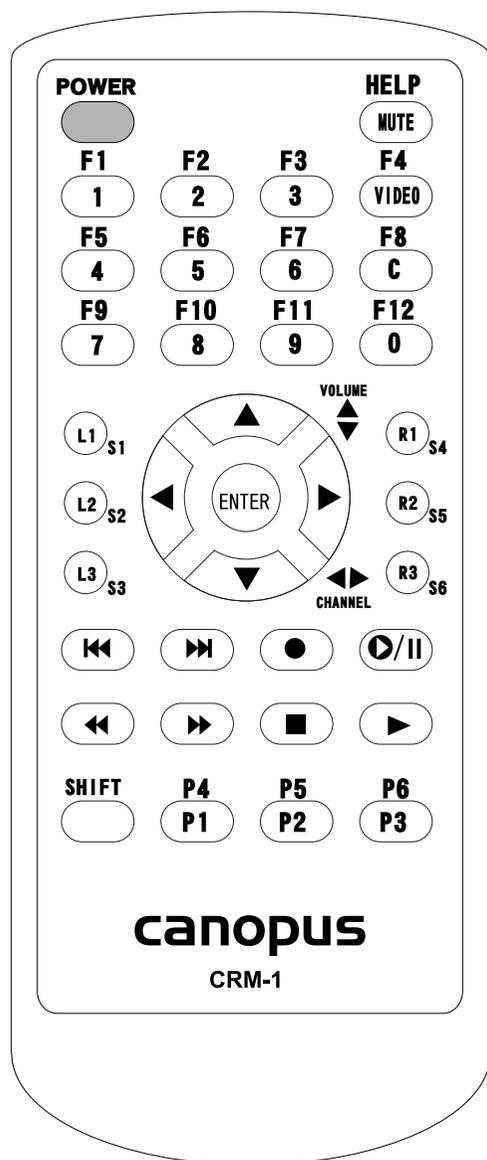
メモ

カテゴリの上で右クリックして、表示されるメニューから [カテゴリの削除] をクリックすると、カテゴリを削除できます。

# FEATHERの起動

DVPで再生した動画ファイルを見るには、FEATHERを起動します。

**メモ** テレビとパソコンを接続していない場合は、「設置と接続」(⇒10ページ)を参照して、接続を完了させてください。



**1** パソコンとテレビの電源が入っていることを確認します。

**2** テレビの表示モードを、パソコンと接続している映像端子の外部入力表示に切り換えてください。

**メモ** テレビの表示モードの切換方法は、テレビに付属の取扱説明書を参照してください。

**3** **POWER** を押します。

→FEATHERが起動します。パソコンのモニターにはリモコンの画像が表示されます。テレビには【メインメニュー】が表示されます。

**注意** テレビに【メインメニュー】が表示されない場合は、FEATHERの「リモートモード」がOFFになっています。次ページの「リモートモードの切換」を参照して、ONにしてください。

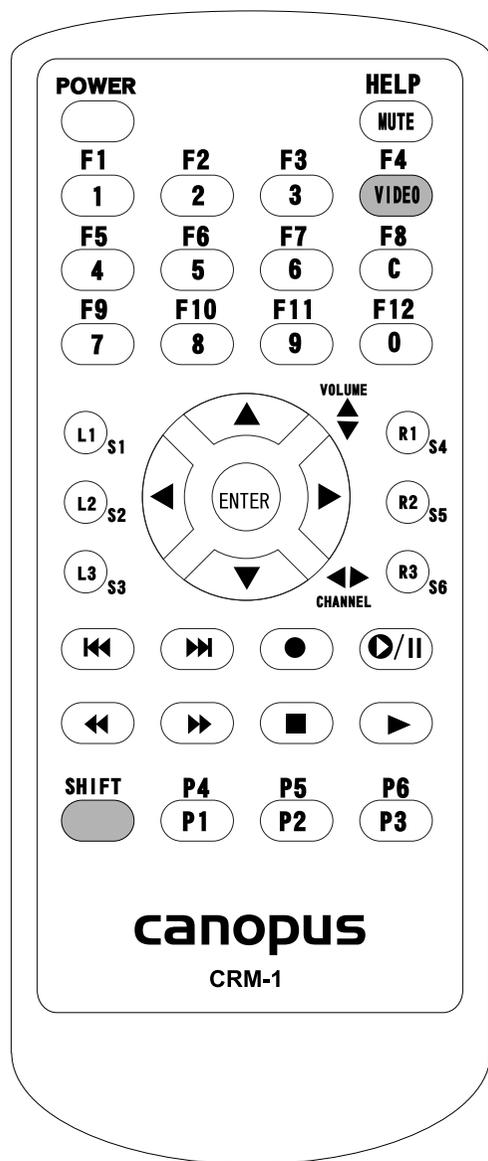
## 終了

**1** **POWER** を押します。

→テレビからOSDメニューの表示が消えます。パソコンのモニターからはリモコンの画像が消えます。

# リモートモードの切換

動画ファイルをテレビで見るには、FEATHERの「リモートモード」をONにします。



1

**SHIFT** を押しながら、**VIDEO** を押します。

→リモートモードのON/OFFが切り換わります。

メモ

リモートモードをOFFにすると、パソコンのモニターで動画ファイルを見ることができます。

3

第3章  
動画ファイルを見てみよう

# OSDメニューについて

本製品は、テレビ画面に表示されるOSDメニューを見て、動画ファイルの再生、TVの視聴および予約録画を操作できます。ここでは、OSDメニューの各項目および操作方法を説明します。

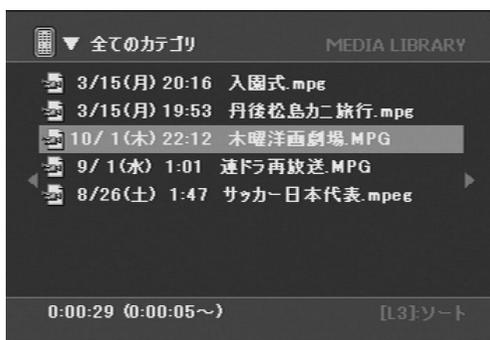
## OSDメニューの各項目

OSDメニューの各項目を説明します。

メモ

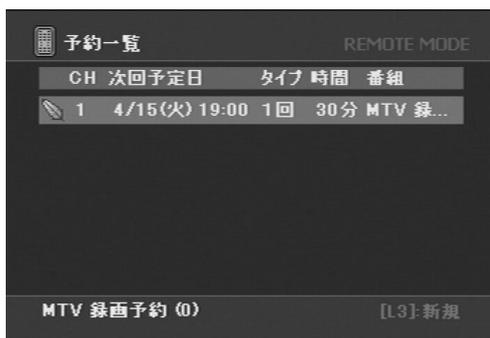
下図の【メインメニュー】はMTVシリーズを併用している場合です。MTVシリーズを併用していない場合は、【メインメニュー】に【TV視聴】および【予約】は表示されません。

### 【メインメニュー】



【MediaLibrary】が表示されます。  
(⇒26ページ)

TV画面が再生されます。  
(⇒33ページ)

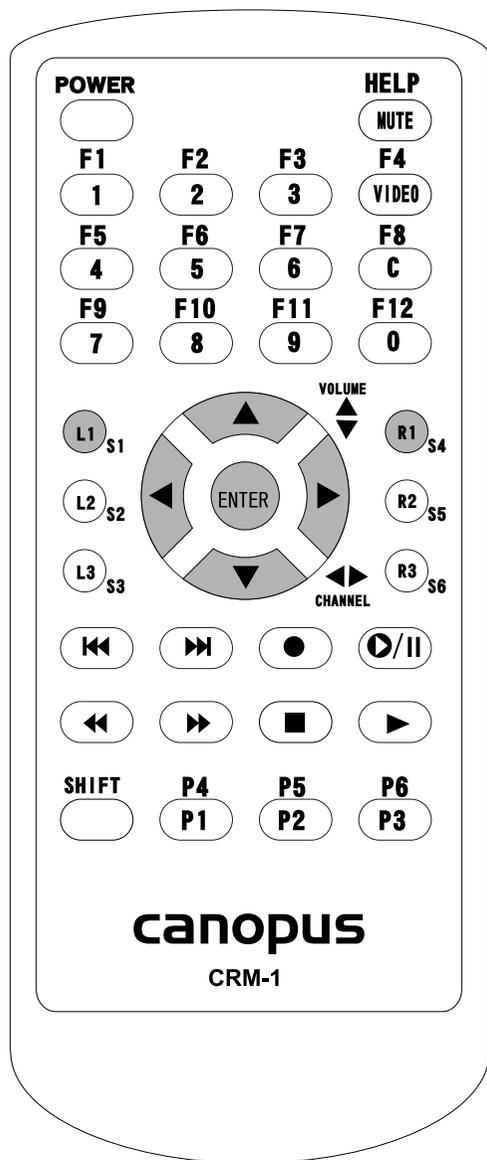


【予約一覧】が表示されます。  
(⇒35ページ)

パソコンのデスクトップ画面が再生されます。  
(⇒30ページ)

## OSDメニューの操作方法

OSDメニューは、リモコンから操作します。



### カーソルの移動



カーソルの移動は、矢印ボタンを押します。

### 項目の選択・確定



カーソルが合っている項目の選択・確定は、[ENTER] ボタンを押します。

### 【メインメニュー】の表示



[L1] ボタンを押すと、【メインメニュー】に移動します。

### 【MediaLibrary】の表示



[R1] ボタンを押すと、【Media Library】に移動します。

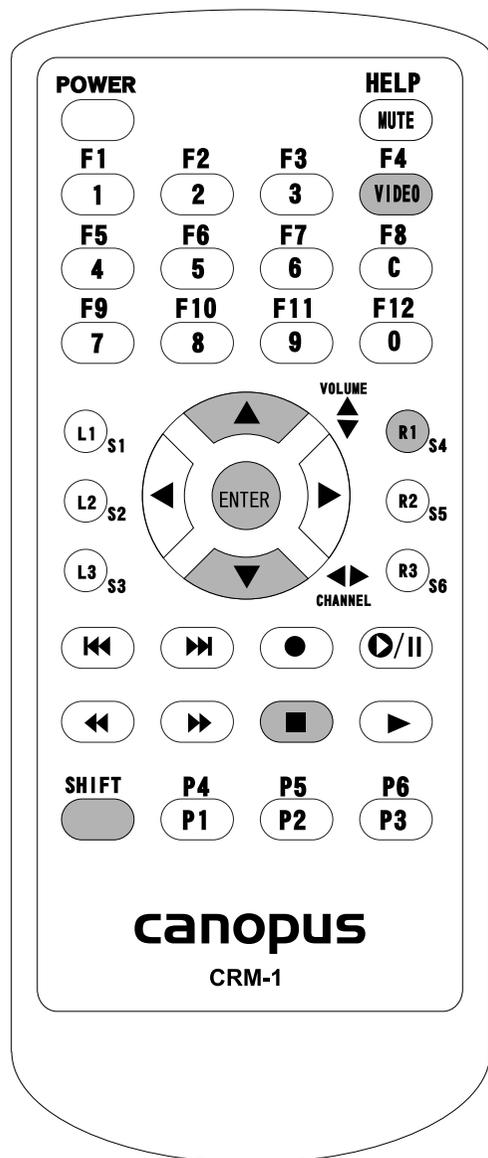
## 3

# ファイルの再生

MediaLibrary に登録された動画ファイルを再生します。

## 注意

テレビで動画ファイルを再生するには、まずMedia Libraryに動画ファイルを登録してください。  
(⇒20ページ)



1

FEATHERが起動した状態で、**FEATHER**を押しながら、**VIDEO**を押して、FEATHERの「リモートモード」をONにします。

→テレビに【メインメニュー】が表示されます。

2

**R1**を押します。

→【全てのカテゴリ】が表示されます。

3

▲▼で再生したいファイルにカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→【サブメニュー】が表示されます。

## メモ

【全てのカテゴリ】が表示された状態で**ENTER**を押すと、【カテゴリ選択】が表示されます。Media Libraryに登録している動画ファイルの数が多いときなどは、【カテゴリ選択】から動画ファイルを探すと便利です。



4

「再生」にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→ファイルの再生が始まります。

メモ

「続きを再生」を選択すると、前回再生時に、再生を停止したシーンから再生が始まります。

5

**■**を押します。

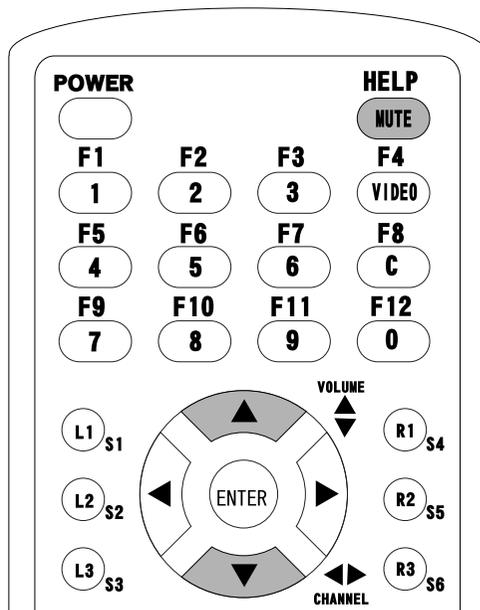
→ファイルの再生が停止します。

メモ

次に同じファイルを再生すると、停止したシーンから再生することもできます。

## 音量を調整する

動画ファイルの再生中に音量を調整できます。



### 音量の調整

1

**▲** / **▼**を押します。

→音量が増大／減少します。また、テレビに音量バーが表示され、現在の音量が分かります。

### 消音

1

**MUTE**を押します。

→テレビから音声が出力されなくなります。

メモ

もう一度 **MUTE** を押すと、テレビから音声が出力されます。

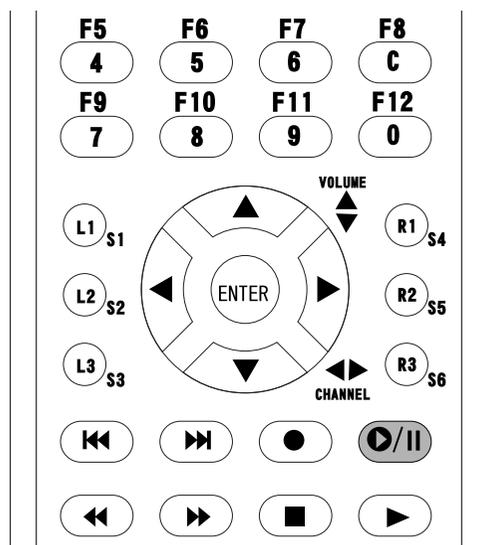
3

第3章 動画ファイルを見てみよう

# いろいろな再生方法

## 動きを止める（一時停止）

再生中に一時停止します。



1

再生中に  を押します。

→再生中の映像が停止します。

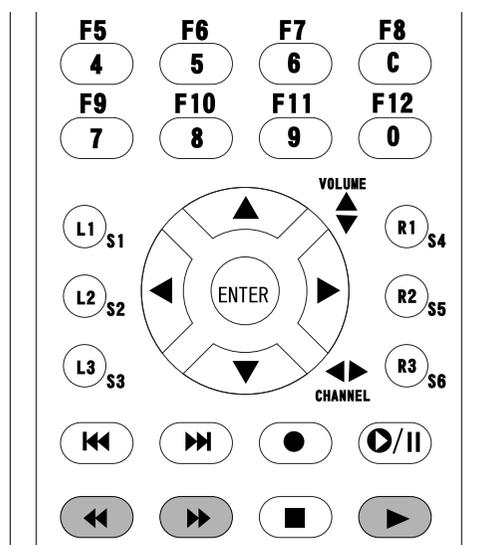
2

もう一度  を押します。

→一時停止したシーンから再生が始まります。

## 見たいシーンを探す（早送り／巻き戻し）

再生を早送り／巻き戻しします。



1

再生中に  /  を押します。

→早送り／巻き戻しが始まります。

2

 を押します。

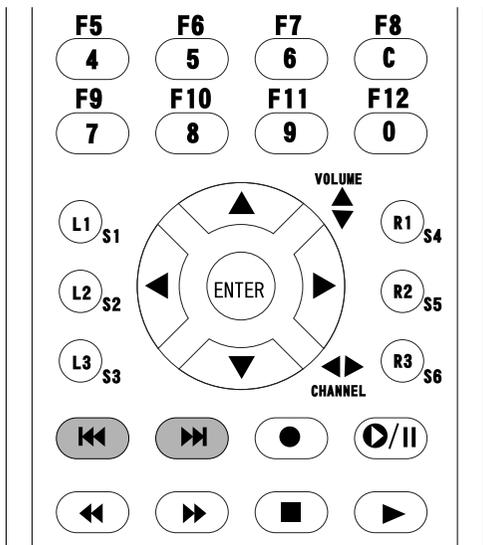
→早送り／巻き戻しが終わり、通常の再生に戻ります。

**メモ**

早送り／巻き戻し中は、音声が出されません。

## 不要なシーンを飛ばす (スキップ/バック)

ボタンを押すごとに、再生シーンを30秒間スキップ/バックします。



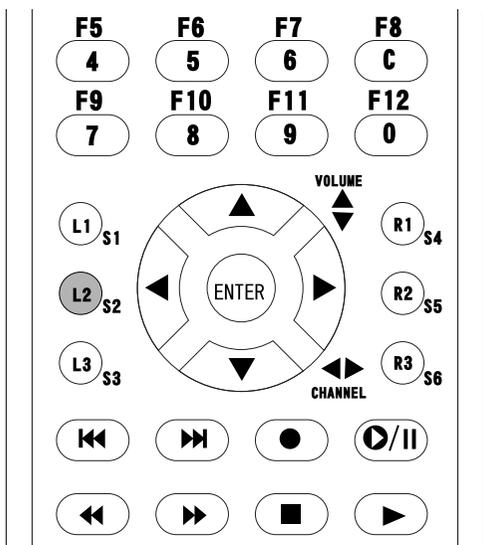
1 再生中に **▶▶** / **◀◀** を押します。

→30秒先 / 30秒前のシーンから再生が始まります。

**メモ** スキップ/バックの間隔は、「FEATHER設定」の「その他」から変更できます。(⇒48ページ)

## シーンを画像として保存する

再生中のシーンを静止画として保存します。



1 キャプチャしたいシーンで **L2** を押します。

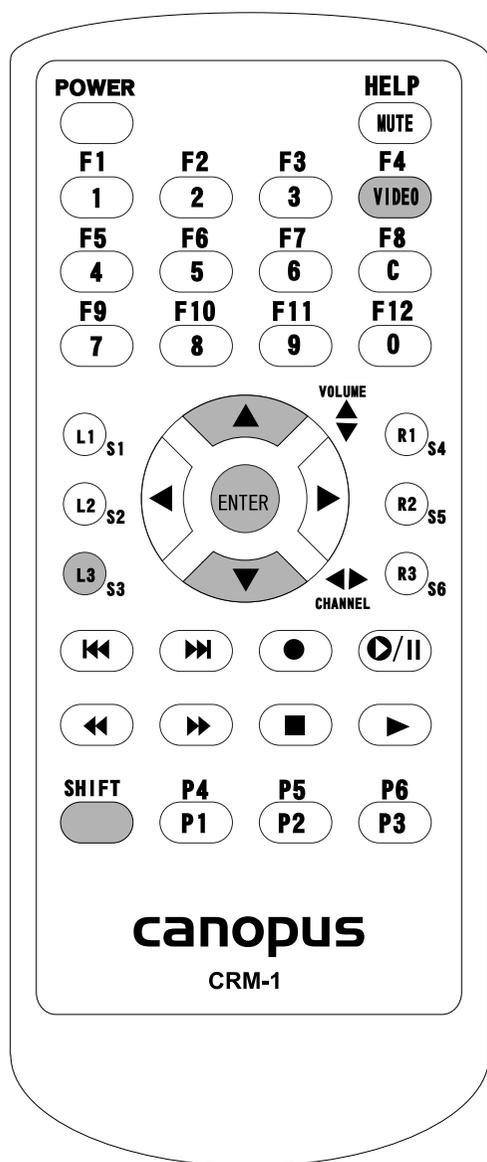
→ **L2** を押した時点の再生シーンがbmpファイルとして「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

3

第3章 動画ファイルを見てみよう

# デスクトップ画面を再生する

テレビにパソコンのデスクトップ画面を再生します。【OSDメニュー】から「デスクトップ」を選択します。



1

FEATHERが起動した状態で、**SHIFT**を押しながら**VIDEO**を押して、リモートモードに切り換えます。

→テレビに【OSDメニュー】が表示されます。

2

**▲** **▼**を押して【デスクトップ】にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



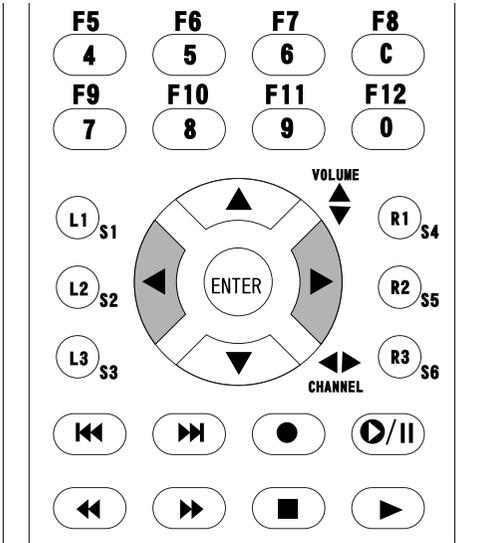
→テレビにパソコンのデスクトップ画面が再生されます。

メモ

- ・デスクトップ画面の再生サイズが小さい場合は、デスクトップ画面全体を再生できません。マウスポインタの位置を中心とした再生サイズの範囲内で、デスクトップ画面を再生します。
- ・**L3**を押すごとに、「マウス追跡モード」のON/OFFが切り換わります。【マウス追跡モード】をOFFにすると、マウスポインタが移動しても、再生されるデスクトップ画面は移動しません。

## サイズを調整する

デスクトップ画面の再生サイズを調整します。再生サイズが大きいほど、デスクトップ画面の広い範囲を再生できます。



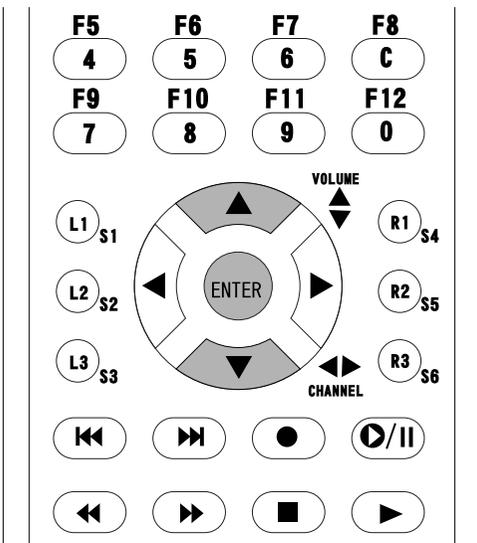
1 を押します。

→デスクトップ画面の再生サイズが縮小／拡大します。

**メモ** 再生サイズの範囲は、「360 × 240」（ピクセル）～「フルスクリーン」です。

## 更新レートを調整する

デスクトップ画面の更新レートを調整します。更新レートが高いほど、デスクトップ画面の動きを滑らかに再生できます。



1 を押します。

→更新レートが高く／低くなります。

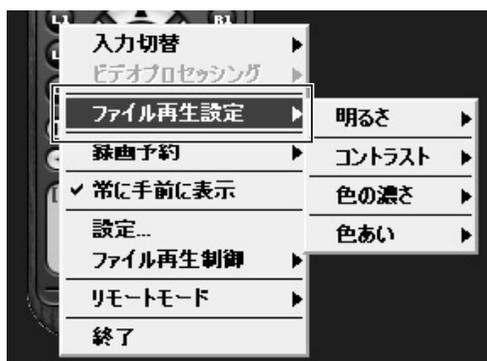
**メモ** 更新レートの範囲は、「30fps」（1秒間に30コマの割合で再生）～「3fps」、および「手動」（ENTERを押すと更新）です。

# 画質の調整

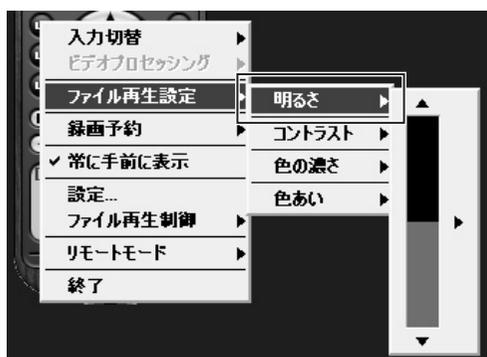
DVPで再生している映像は、映像を見ながら画質を調整できます。

## 調整方法

再生中およびTV視聴中の映像の画質は、マウスで調整します。



※画面はファイル再生中のものです。



※画面はファイル再生中のものです。

1 パソコンのモニタ上にあるリモコンの $\text{L1}$ をクリックして、表示されるメニューから「ファイル再生設定」(TV視聴中は「TV画面設定」)の上にマウスポインタを移動します。

→調整項目が表示されます。

2 調整したい項目の上にマウスポインタを移動します。

→調整グラフが表示されます。

**メモ** 調整グラフ右横にある▶は工場出荷時のレベルです。  
▶をクリックすると、工場出荷時のレベルに設定されます。

3 調整グラフ中の上をクリックしながらレベルを調整します。

→画質のレベルが変更されます。

## 調整項目について

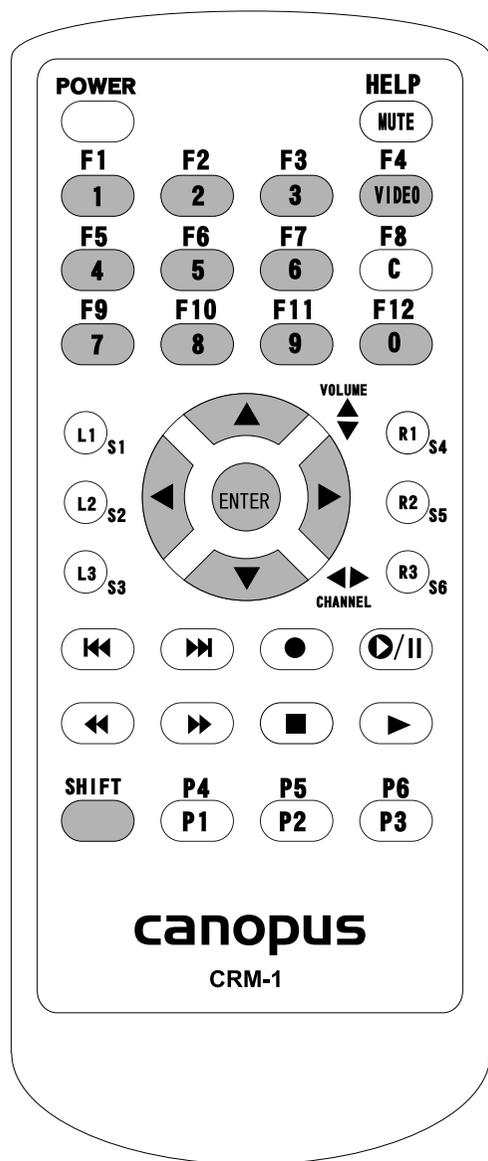
	レベル高	レベル低
明るさ	明るい	暗い
コントラスト	明暗の差がはっきりする	明暗の差がなくなる
色の濃さ	色が濃くなる	色が薄くなる
色あい (※1)	赤みがる	緑がる

※1：TV視聴時はなし

# TVを見る

DVPとMTVシリーズ（別売）を一緒に使うと、TVを視聴できます。

**注意** TVを視聴する前に、MTVの準備を完了させてください。



**1** FEATHERが起動した状態で、**SHIFT**を押しながら、**VIDEO**を押して、FEATHERの「リモートモード」をONにします。

→テレビに【メインメニュー】が表示されます。

**2**   を押して [TV視聴] にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→テレビにTV映像が表示されます。

**3** , または数字ボタンを押して、見たいチャンネルに切り換えます。

**メモ**

- ・音量調整は、27ページを参照してください。
- ・テレビに表示される映像の画質調整は、32ページを参照してください。

4

第4章 TVを見てみよう  
〜MTVといっしょに使う〜

# TVを予約録画する

本製品とMTVシリーズ（別売）を一緒に使うと、リモコンでTVを予約録画できます。

## 予約録画の前に

TVを予約録画する前に、Windowsのユーザーアカウントのログオンパスワードを必ず設定してください。ここでは、Windows XPを例に設定方法を説明します。すでに設定している場合は不要です。

1 [スタート] ボタン→ [コントロールパネル] の順にクリックします。

→ 【コントロールパネル】画面が表示されます。

2 [ユーザーアカウント] をクリックします。

→ 【ユーザーアカウント】画面が表示されます。

3 本製品を使用しているユーザーアカウントをクリックします。

4 「パスワードを作成する」をクリックします。

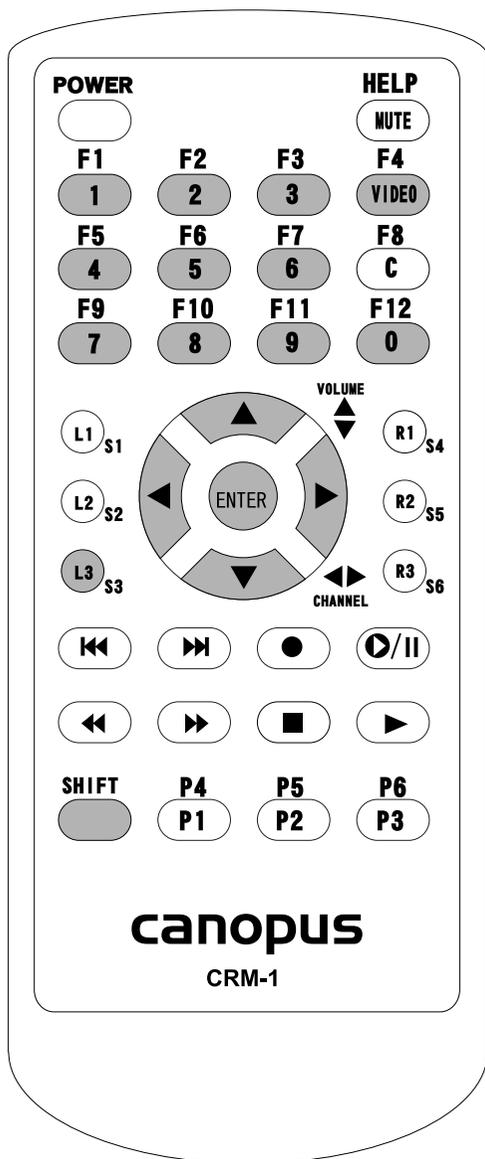
5 「新しいパスワードの入力」および「新しいパスワードの確認入力」にパスワードを入力して、「パスワードの作成」ボタンをクリックします。



以上でパスワードの作成は完了です。

## 予約を新規登録する

TVの予約録画を登録します。



1 FEATHERが起動した状態で、**SHIFT**を押しながら、**VIDEO**を押して、FEATHERの「リモートモード」をONにします。

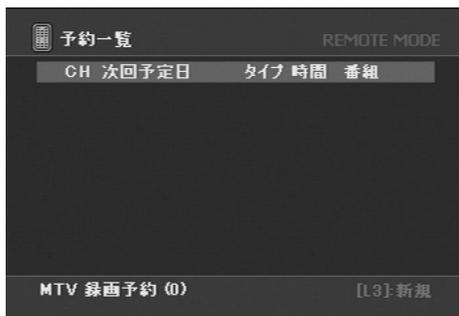
→テレビに【メインメニュー】が表示されます。

2 **▲** **▼**を押して [予約] にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→【予約一覧】が表示されます。

3 **L3**を押します。



→【予約-新規追加】が表示されます。

## 4

予約内容を入力します。▲▼を押すと、カーソルが各項目を移動します。

予約 - 新規追加	
① タイプ	1回のみ
② 開始日	2003 / 4 / 15 (火)
③ 開始時刻	19 : 00
④ 録画時間	0 : 30
⑤ チャンネル	[1]
⑥ 録画形式	MPEG2 普通
⑦ カテゴリ	(指定なし)
⑧ 毎週の設定	---
OK      キャンセル	

## ①タイプ

録画のタイプを▲▼で選択します。  
 1回のみ：録画開始日のみの録画です。  
 毎週：録画開始日以降、決められた曜日を毎週録画します。  
 毎日：録画開始日以降、毎日録画します。

## ②開始日

録画開始日を入力します。▲▼でカーソルを合わせて、数字ボタンで入力します。最後に[ENTER]を押して確定します。最後まで数字を入力すると自動的に確定されます。

## ③開始時刻

録画開始時刻を入力します。▲▼でカーソルを合わせて、数字ボタンで入力します。最後に[ENTER]を押して確定します。最後まで数字を入力すると自動的に確定されます。

## 5

[OK] にカーソルを合わせて、[ENTER]を押します。

→【予約一覧】に予約が新規追加されます。  
 予約録画で保存されたファイルは、Media Libraryに登録されます。

## メモ

ファイルのデータ自体は、「マイドキュメント」内にある「マイビデオ」フォルダに格納されます。

## ④録画時間

録画開始時刻からの録画時間を「HH:MM」形式で入力します。▲▼でカーソルを合わせて、数字ボタンで入力します。最後に[ENTER]を押して確定します。最後まで数字を入力すると自動的に確定されます。

## ⑤チャンネル

録画するチャンネルを▲▼で選択します。

## ⑥録画形式

録画映像の画質を▲▼で選択します。「MPEG2 高画質」「MPEG2 普通」「MPEG2 1/2解像度」「MPEG2 1/4解像度」「MPEG1 普通」「Video CD」の中から選択してください。

## ⑦カテゴリ

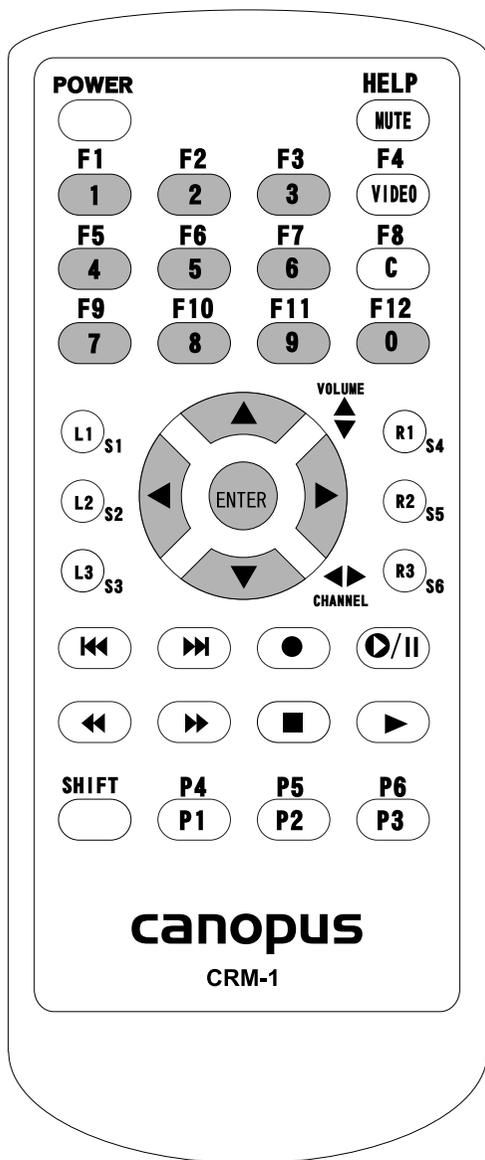
▲▼で録画内容のカテゴリを選択します。カテゴリの項目は、Media Libraryに登録されているカテゴリと同じです。

## ⑧毎週の設定

(①で「毎週」を選択した場合のみ)  
 曜日ごとに録画の「ON」/「OFF」を設定します。

## 予約を編集する

登録した予約を編集します。



1 【予約一覧】から▲▼で編集したい予約にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



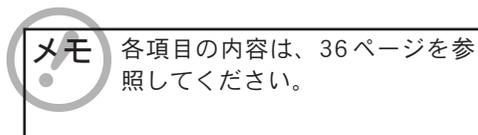
→【MTV録画予約】が表示されます。

2 【編集】にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→【予約-編集】が表示されます。

3 各項目を編集します。



4 【OK】にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。

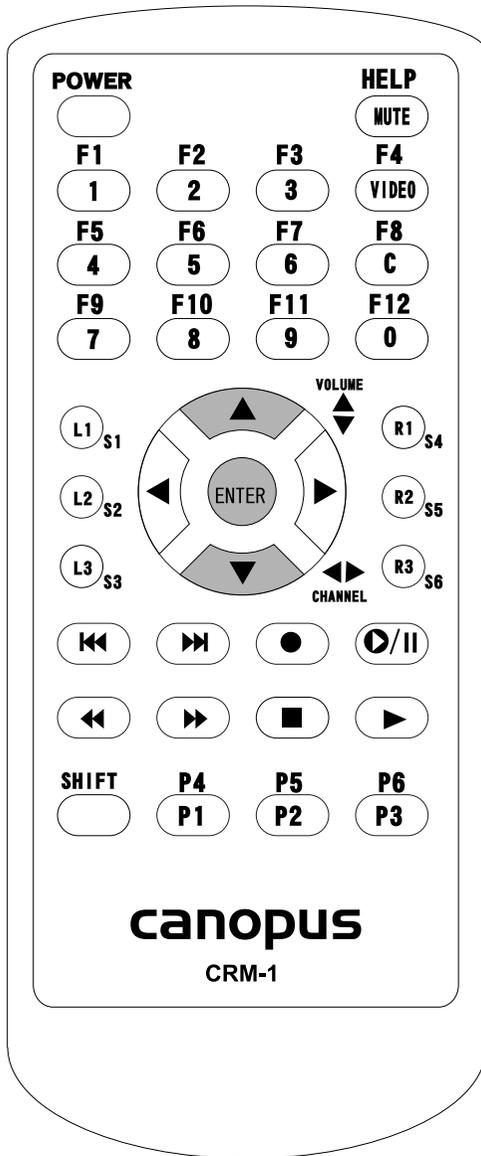
→編集した内容で再登録されます。

4

第4章 TVを見てみよう  
くMTVといっしょに使う

## 予約を削除する

登録した予約を削除します。



1 【予約一覧】から▲▼で削除したい予約にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。

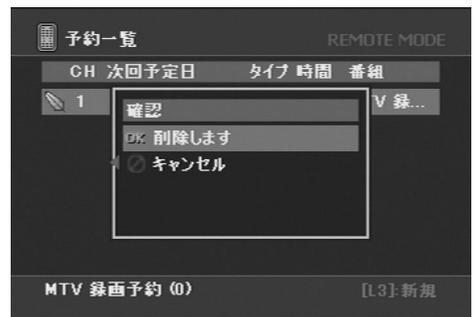
→【MTV録画予約】が表示されます。

2 【削除】にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→【確認】が表示されます。

3 【削除します】にカーソルを合わせて、**ENTER**を押します。



→予約が削除されます。

# 録画しながら再生する(追っかけ再生)

DVPとMTVシリーズ（別売）を一緒に使うと、録画していたTVを追っかけ再生できます。

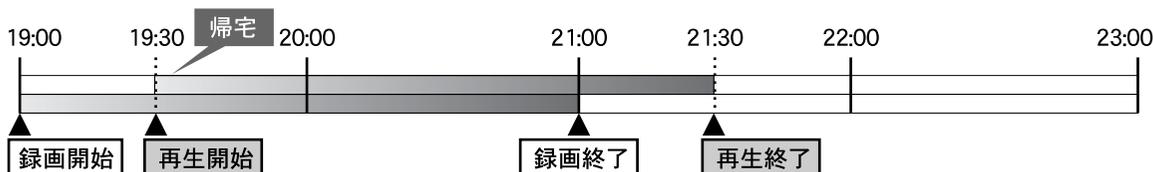
## 追っかけ再生とは？

TVの録画を続けながら、録画済みの見たいシーンから再生できる機能です。

## 追っかけ再生の活用例

19:00～21:00までのドラマを予約録画していたが、19:30に帰宅した場合を例に説明します。

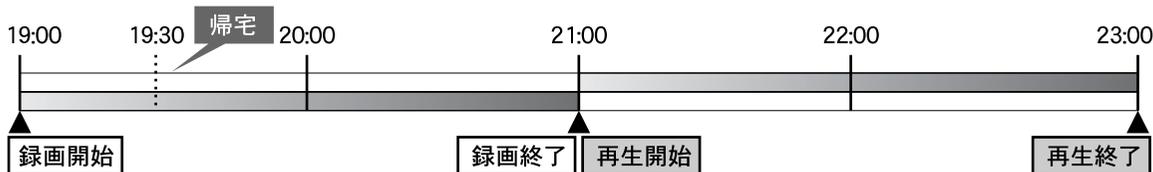
### 追っかけ再生を使うと・・・



19:30に追っかけ再生を開始します。  
(21:00までドラマの録画は続いています)  
21:30に再生が終了します。

ドラマの放映が終わるのを  
待たずに再生できて  
とても便利！

### 追っかけ再生に対応していないと・・・

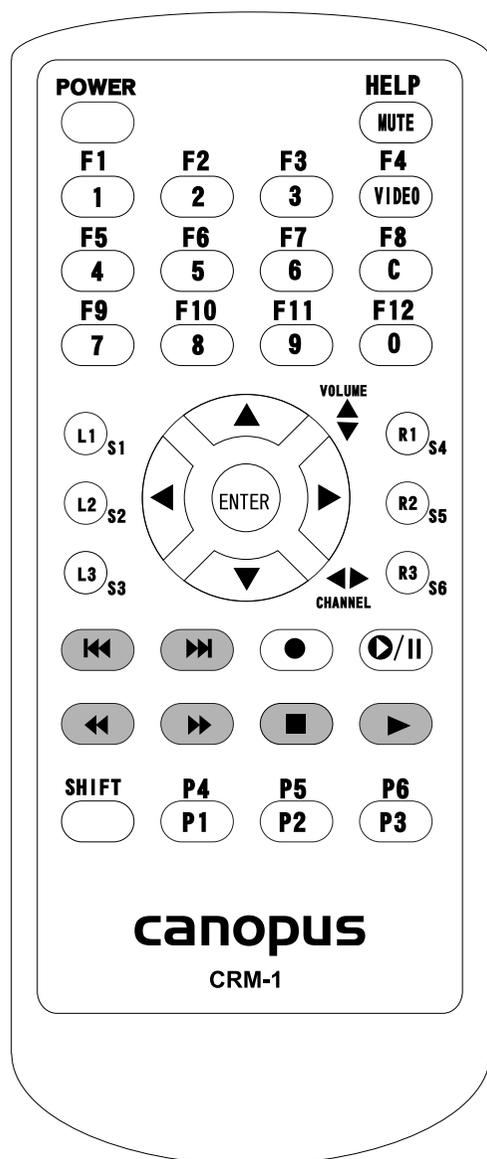


21:00にドラマの放映が終わってから、  
録画したドラマを再生します。

録画が終了するまで再生でき  
ないので、ものすごく不便！

## 追っかけ再生の操作方法

追っかけ再生の操作はリモコンで行います。



1 MTVが録画中であることを確認します。

2 ▶を押します。

→追っかけ再生が始まります。

3 ◀◀/▶▶、または◀◀/▶▶を押すと、  
見たいシーンへ移動します。

### 追っかけ再生の終了

■を押します。

→追っかけ再生が終了します。TVの録画自体は  
続いています。

**メモ** もう一度■を押すと、TVの録  
画自体が終了します。

# ハードウェア仕様

## VideoGate 1000 ボード

型名	VideoGate1000	
形式	高画質マルチフォーマット ビデオ出力ボード	
対応ビットレート	最大15Mbps	
アナログビデオ出力	D1端子×1 ミニDIN7ピン×1 (付属のアナログビデオ端子ケーブルを使用すると、コンポジット出力として使用できます。)	
アナログオーディオ出力	RCAピン×2 (ステレオ1系統)	
使用資源	割り込み	IRQ 1つを使用
	メモリ	1Kバイト分の領域
最大消費電流	+5V 700mA +12V 100mA -12V 60mA	
ボードサイズ (突起物を除く)	長さ	135mm
	高さ	107mm

## リモコン送信ユニット

型名	CRM-1	
形式	36Key対応赤外線送信機	
稼働範囲	距離	4m
	角度	上下左右とも45°
動作温度範囲	0°C～+40°C	
使用電池	リチウム電池 CR2025	
サイズ	125.2mm×52mm×9.5mm	
重さ	約40g (電池を含まず)	

## リモコン受光ユニット

型名	CIRCV-1	
形式	USB接続対応赤外線受信機	
電源	USBバスパワーにて動作	
動作温度範囲	0°C～+40°C	
入出力コネクタ	USB Aタイプ USB Ver.1.1仕様準拠	
受光部サイズ	54mm×36.6mm×27mm	
重さ	約65mm	
ケーブル長	約1450mm (USBコネクタ部を含む)	
赤外受光半角値	上下左右とも45°	

# ソフトウェアのアンインストール

本製品をインストールしなす時や、本製品を使わなくなった時は、ソフトウェアをアンインストールします。

## 注意

- ・ Windows 2000/XPのパソコンでアンインストールするには、Administratorsまたは管理者の権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。
- ・ 起動しているすべてのアプリケーションソフトや、常駐ソフトを終了させてからアンインストールを実行してください。

## アンインストールの手順

ここでは、Windows XPの操作手順および画面を使って説明しています。



1

【スタート】ボタン→【コントロールパネル】の順にクリックします。

→【コントロールパネル】画面が表示されます。



2

【プログラムの追加と削除】ボタンをダブルクリックします。

→【プログラムの追加と削除】画面が表示されます。

3

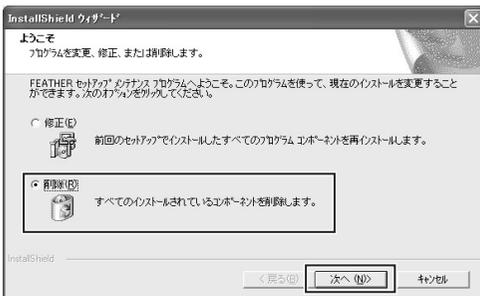
「Canopus FEATHER」をクリックします。



4

[変更と削除] ボタンをクリックします。

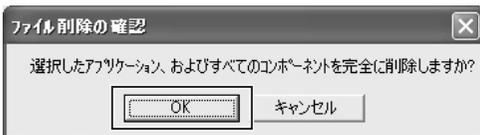
→ 【InstallShieldウィザード】画面が表示されます。



5

[削除] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。

→ 【ファイル削除の確認】画面が表示されます。



6

[OK] ボタンをクリックします。

→ 【ファイル削除の確認】画面が消え、アンインストールが始まります。アンインストールが終了すると、【InstallShieldウィザードの完了】画面が表示されます。



7

[完了] ボタンをクリックします。

→FEATHERがアンインストールされました。アンインストールが終わると、【プログラムの追加と削除】画面が表示されます。



8

「VideoGate1000」をクリックし、手順4～7と同様に操作を行います。

→VideoGate1000がアンインストールされます。

アンインストールが終わると、【プログラムの追加と削除】画面が表示されます。



9

「InterVideo FilterSDK」をクリックします。

→【Shared File Detected】画面が表示されます。



10

「Don't display this message」にチェックを入れて、[Yes] ボタンをクリックします。

→アンインストールが始まります。

メモ

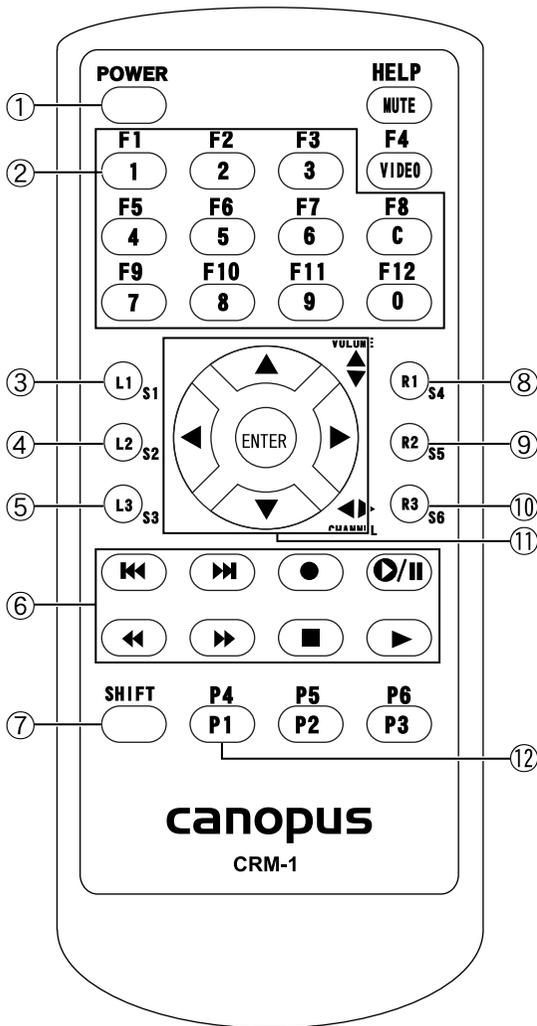
MTV Seriesのアンインストール方法は、MTV Seriesに付属のマニュアルを参照してください。

以上でアンインストールは完了です。

# リモコンについて

## 各部の名前

リモコン各ボタンの名前とその機能を説明しています。



### ①POWERボタン

FEATHERを起動／終了します。

### ②1-0/Cボタン

チャンネルをダイレクト入力、もしくはプリセット入力で指定します。  
ケーブルテレビのチャンネルは、頭に『C』をつけて入力します。  
Cボタンはメニューの取り消しを行います。

### ③L1ボタン

映像を視聴するための基本設定を行います。  
リモートモード使用時は、【メインメニュー】を表示します。

### ④L2ボタン

映像の任意の箇所を、静止画ファイルとして保存します。

### ⑤L3ボタン

音声の出力方法を切り換えます。

### ⑥録画再生コントロールボタン

録画や再生に関するコントロールを行います。

### ⑦SHIFTボタン

他のボタンと同時に押すことによって機能します。

-  カーソルを右に移動します。
-  カーソルを左に移動します。
-  カーソルを上移動します。
-  カーソルを下移動します。
-  マウスの左クリックと同じ動作をします。
-  スタンバイ状態になります。  
FEATHERが起動していない時のみ機能します。
-  リモートモードのON/OFFを切り換えます。

### ⑧R1ボタン

Media Libraryを表示／非表示します。

⑨R2 ボタン

現在のモードをDVD再生モードに切り換えます。  
リモートモードでは使用できません。

⑩R3 ボタン

映像画面をフルスクリーン表示に切り替えます。

⑪左右ボタン

チャンネルをコントロールします。OSDメニュー表示時は、カーソルを左右に移動します。

⑫上下ボタン

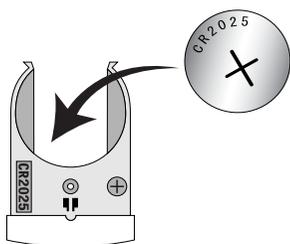
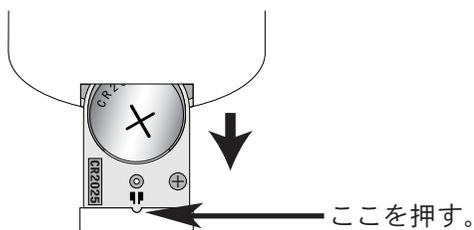
音量をコントロールします。OSDメニュー表示時は、カーソルを上下に移動します。

⑬P1 ボタン

FEATHERを起動します。

## 電池の交換

電池の交換は、次の手順で行います。



1

リモコン裏面にある電池カバーの穴を、先のとがったペンなどで押し、電池カバーを取り外します。

2

使用済みの電池を電池カバーから取り外し、+ (プラス) マークが上になるようにして、新しい電池を入れます。

メモ

リモコンに使用している電池は、「リチウム電池 CR2025」です。

3

電池の+ (プラス) マークをリモコン裏面に向けてはめ込み、電池カバーを取り付けます。

メモ

製品出荷時のリチウム電池は、動作確認用です。

# FEATHERの設定

本製品を使用するときは、リモコンを制御するアプリケーションソフトを使用します。これを「FEATHER」と呼びます。本製品をより便利に操作するために、FEATHERの各種設定を行います。

## 基本設定

映像を視聴するための基本設定は、FEATHERの [L1] ボタンをクリックし、表示されるメニューから行います。



- ① 音量を設定します。Mを押すとデフォルト値に戻ります。
- ② 再生方法を設定します。[DVD再生][ファイル再生]のいずれかを選択します。
- ③ コンポジット信号のYC分離とノイズフィルターの動作を選択します。2画面表示モードでは、録画を行っている画面、テレビ視聴を行っている画面について、それぞれ設定できます。
- ④ 映像を表示する画面サイズを選択します。
- ⑤ TV予約録画を行います。(⇒34ページ)
- ⑥ FEATHERの画面を、常に手前に表示します。
- ⑦ 操作パネルを表示/非表示します。
- ⑧ 映像の任意の箇所を、静止画ファイルとして保存します。
- ⑨ FEATHER設定を行います。(⇒48ページ)
- ⑩ テレビ画面に映像を表示します。(⇒23ページ)
- ⑪ FEATHERを終了します。

## 動作設定

FEATHERの動作に関する設定は、操作パネルを右クリックし、表示されるメニューから行います。



- ① オーバーレイの表示/非表示を設定します。
- ② 録画ファイルが登録されている、【Media Library】画面を表示します。(⇒20ページ)
- ③ 映像を録画中に、録画の残り時間の表示/非表示を設定します。
- ④ 操作パネルのデザインを設定します。
- ⑤ 【FEATHER G-Spec.】画面を表示します。(⇒48ページ)
- ⑥ 再生中の映像を、繰り返し再生します。
- ⑦ 操作パネルの表示/非表示を選択します。
- ⑧ FEATHERを終了します。

## FEATHER設定

FEATHERの動作に関する設定は、パソコンのモニタ上にあるリモコンの [L1] ボタンをクリックして表示されるメニューから「設定」を選択して、表示される【FEATHER G-Spec.】画面で行います。

### 設定項目

【FEATHER G-Spec.】画面で設定できる項目は、次のとおりです。



- ① 視聴するTV映像の、各チャンネルを登録します。
- ② MTVの画質を設定します。各設定項目の説明は、MTVシリーズに付属のマニュアルをご参照ください。
- ③ ビデオ入力時の、映像の画質を調整します。
- ④ Sビデオ入力時の、映像の画質を調整します。
- ⑤ チューナー入力時の、映像の画質を調整します。
- ⑥ TV映像をパソコンで視聴するときの、映像の画質を調整します。
- ⑦ MPEGファイルの再生方法と音声出力を設定します。(⇒50ページ)
- ⑧ MPEGファイル視聴時の、映像の表示領域を設定します。(⇒49ページ)
- ⑨ 視聴する映像の、品質を設定します。
- ⑩ タイムシフトモード時の設定を行います。
- ⑪ 録画時間の制限や、録画やタイムシフト時のチャンネル切り替えの制限を設定します。
- ⑫ 録画した映像データと、静止画キャプチャしたデータの、保存先を設定します。
- ⑬ TV映像を録画して、映像データとして保存するときの、MPEG形式の種類と画質を設定します。
- ⑭ 録画する映像データの、映像の品質を調整します。
- ⑮ 録画する映像データの、音声の品質を調整します。
- ⑯ SWエンコードの設定を行います。
- ⑰ 本製品で使用する、「MPEG1」「MPEG2」の拡張子を設定します。
- ⑱ DVDドライブにDVD Videoが挿入されたときの、再生方法を設定します。
- ⑲ 操作パネルのデザインを設定します。
- ⑳ 本製品で使用する、動画ファイルの拡張子を設定します。
- ㉑ スキップボタンでスキップする映像のスキップ間隔、リピート再生の有無、トラブルシューティング、などの設定を行います。

#### メモ

- ・ [ソフトウェアコーデック選択] ボタンをクリックして、表示される「ソフトウェアエンコーダ使用に関する許諾」に同意した場合のみ、設定が可能となります。
- ・ ここで設定した内容についての動作は、サポート対象外となります。

## チャンネルの表示/非表示設定

映像を視聴しているときの、[チャンネル番号] [放送局名] の表示/非表示を設定します。



- ①チャンネル番号を表示するときにチェックを入れます。また、[切り替え時にのみ表示する] [常に表示する] のいずれかを選択します。
- ②放送局名を表示するときにチェックを入れます。また、[切り替え時にのみ表示する] [常に表示する] のいずれかを選択します。
- ③ [チャンネル番号] および [放送局名] の、表示位置を選択します。

**メモ** チャンネル表示の設定は、リモートモードがOFFの時のみ有効です。

## 表示領域の設定

映像を視聴しているときの、映像の表示領域を設定します。

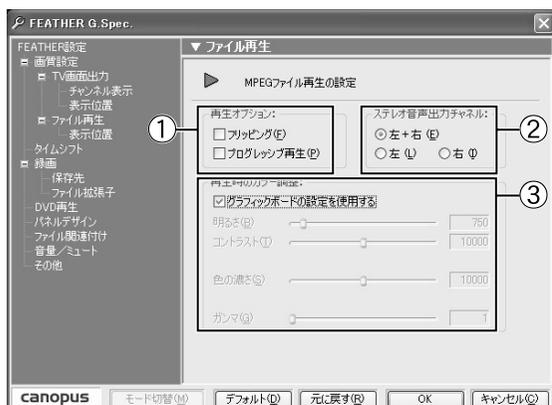


- ①上下左右の、無効領域（画面に表示されない領域）を設定します。無効領域がカットされ、有効領域が拡大して表示されます。

**メモ** 表示位置の設定は、リモートモードがOFFで、かつ1画面モードの時のみ有効です。

## MPEGファイル再生の設定

MPEGファイルの再生方法と音声出力を設定します。



① [フリッピング] にチェックを入れると、テリアリング（非同期書き換え時の、描画の追い越し）を防止します。

[プログレッシブ再生] にチェックを入れると、偶数・奇数フィールドを個別に1/60秒間隔で更新し、フィールドを補間して表示します。

②ステレオ音声の出力を設定します。  
[左+右] [左] [右]のいずれかを選択します。

③映像の色を調整します。  
グラフィックボードの設定を使用する場合は、  
[グラフィックボードの設定を使用する] を  
チェックします。

**メモ** ファイル再生の設定は、リモートモードがOFFの時のみ有効です。

## キーの設定

リモコンまたはFEATHERの操作パネルにあるボタンは、ボタンの配置を変更したり、キーボードのキーを割り当てることができます。



1 タスクバーの「FEATHER」アイコンをクリックし、表示されるメニューから「設定」を選択します。

→【Canopus RC Manager】画面が表示されます。



2 ボタンの割り当てを変更するボタンを、「ボタン割り当て」欄から選択し、[割り当て] ボタンをクリックします。

→【割り当て】画面が表示されます。



3 キーボードのキーを割り当てる場合は [キーボード]、ボタンの配置を変更する場合は [リモコンボタンコード] を選択して、リストボックスから割り当てるキーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

→【割り当て】画面が閉じ、キーが割り当てられます。



4 すでにボタンに割り当てられているキーを解除する場合は、ボタンの割り当てを解除するボタンを、「ボタン割り当て」欄から選択し、[割当解除] ボタンをクリックします。

→ボタンの割り当てが解除されます。

5 【Canopus RC Manager】画面の [OK] ボタンをクリックします。

→設定した内容が反映されます。

